

道

2021・11・10

通信 No 1660



セイジ

今日の練習 6時～8時 タベの鐘 鶴 道 百万本のバラ
(小坂先生・二宮先生)

次回 11月17日(水) 6時～8時 場所 吉野町プラザホール
・道(ソロ合わせの為)・リンゴの花咲く頃・大きな村が見える(男)
・おおかりーナの花が咲く(女)・囚人の歌 (清水先生・小坂先生)

入団者紹介 奈倉哲三(なぐらてつぞう)さん 誕生日 10月24日 11月より入団されました。

《若き 柔道金メダリストとの稽古》

バス 堀内俊昭

私は中学三年生の時近所のガキ大将から柔道をやらないか、との勧めで横須賀汐入の渡辺道場へ入りました。驚いたのはそのガキ大将の体落とし風の背負い投げは体が吸い込まれていくような技でした。私もこの技を仕込まれましたがなかなかうまくいきませんでした。

当時私は、60kg-170cmで柔道人では体が細く道場主からは、かトンボと呼ばれていました。試合も体重別はなく私には卓球とか軟式テニスのほうが向いているのではと、時々思っていました。

道場には横須賀高校2年生の猪熊功さんも来ていて乱取り(試合に準ずる)稽古もよくしました。彼は身長は私とあまり変わりませんが、筋肉もりもりでした。21時頃練習が終わった後は一人でバーベルや鉄アレイを使い、身体づくりをしていました。私達は陰で馬力の熊さんと呼んでいました。東京教育大(当時)へ行き、21歳の時に日本選手権で優勝をしました。そして1964年の東京オリンピック無差別級で金メダルを取りました。その後、柔道界では神奈川柔道協会長などを経て実業界に入りましたが、自死をしました。

私は横須賀工高入学してから柔道部に入りましたが、部員は30～40名いました。この時の生活は、朝5時に起きて新聞配達～学校授業～柔道部練習～道場練習～風呂屋と厳しい時間割でした。日本冶金工業に就職した柔道部に入り1ヵ月のころ、一緒に入社した3人と組んで川崎臨港地区大会の有段者の部に出ました。1対1の時は私が代表戦に出たりして優勝してしまいました。個人戦では2位でした。小さい大会でしたが大企業の日本鋼管や富士電機に勝てたのは誇りでもありました。

その後の川崎市民大会では、東西に別かれた勝ち抜き戦で4勝位して3位になりました。

これらは継続してやればあるところまではやれる自信になりました。

人生で一番輝いた時期だったか？

《企画選曲委員会のお知らせ》

日 11月24日(水) 午後3時～5時

場所 県民サポートセンター

今週の金曜日は自主練習あります。

希望者の方はご参加下さい

11月12日(金) 13時～15時

横浜市社会教育コーナー・トレーニングルーム

費用 1回 500円

持ち物 楽譜、スリッパ

小坂先生の指導で練習します。 石田・菅野